

**NEWS RELEASE**

2018(平成 30)年 10 月 29 日

報道関係者各位

佐川急便株式会社  
北海道旅客鉄道株式会社**佐川急便と JR 北海道が貨客混載事業に取り組んでいくことで合意**

佐川急便株式会社(本社:京都市南区、代表取締役社長:荒木秀夫、以下佐川急便)と北海道旅客鉄道株式会社(本社:札幌市中央区、代表取締役社長:島田修、以下 JR 北海道)は、宅配便を旅客列車で運ぶ貨客混載事業に取り組んでいくことに合意しましたのでお知らせいたします。今後、事業実施に向けて両社で実証実験などを行っていきます。

**1.背景**

全国的に自動車運送業の担い手不足と人口減少等に伴う旅客輸送(需要)の減少により、特に、過疎地域等においては、物流及び人流サービスの維持が重要な課題となっています。このような状況下、貨物又は旅客の運用に特化してきた従来の輸送サービスのあり方を転換し、一定の条件のもと荷物と旅客を運ぶ「かけもち」ができるよう、規制が緩和されました。

このような背景から、佐川急便では北海道内の集配効率の向上を図るために列車を使った貨客混載事業を協働で行いたい意向があり、JR 北海道に相談していました。JR 北海道としても、列車を有効活用して収入に繋げることができることから、その実現の可能性について両社で検討を進めてきました。その結果、佐川急便と JR 北海道は、本制度を活用し、宗谷線 稚内駅～幌延駅間の旅客列車を利用して宅配便を運ぶ新たな貨客混載事業に取り組むことになりました。

**2.事業概要**

今回事業展開を想定している範囲は、JR 北海道が管轄する宗谷線 稚内駅～幌延駅間で、旅客列車に宅配便と旅客を混載して輸送することを検討しています。

天塩郡幌延町で 1 日に配達する荷物を宗谷線の客車内に積み込んで、稚内駅から幌延駅まで運びます。幌延町を担当するドライバーが駅で配達荷物を受け取り、配達を行います。

**〈運用フロー〉**

- ①佐川急便が JR 稚内駅に専用ボックスで配達荷物を輸送
- ②宗谷線車内に専用ボックスを固定して輸送
- ③JR 幌延駅で配達担当者が専用ボックスを取り降ろし
- ④幌延町エリアを配達